

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-53497

(43)公開日 平成6年(1994)7月22日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 85/57
85/00

識別記号

庁内整理番号

C 7445-3E

F 8921-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-92722

(22)出願日 平成4年(1992)12月25日

(71)出願人 593017485

神戸興産株式会社

兵庫県神戸市長田区四番町8丁目1番地

(72)考案者 井沢 猷昌

兵庫県加東郡東条町東垂水257 神戸興産
株式会社東条工場内

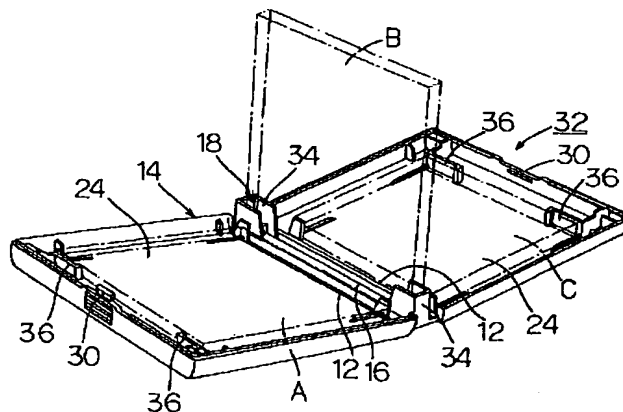
(74)代理人 弁理士 武田 賢市

(54)【考案の名称】 フロッピーディスク収納ケース

(57)【要約】 (修正有)

【目的】フロッピーディスクを複数枚収納する際に好適に使用される収納ケースを得ることを目的とする。

【構成】両開きに形成したブック型本体の背部分16を所定の厚さに設定するとともにこの背部分16内側に一もしくはそれ以上のフロッピーディスクを収容して垂直保持するための収容部18を対向配置する。このフロッピーディスク収納ケース32は小型でしかも複数のフロッピーディスクの保管ないしは持ち運びを好適に行なえるものである。



1

【実用新案登録請求の範囲】

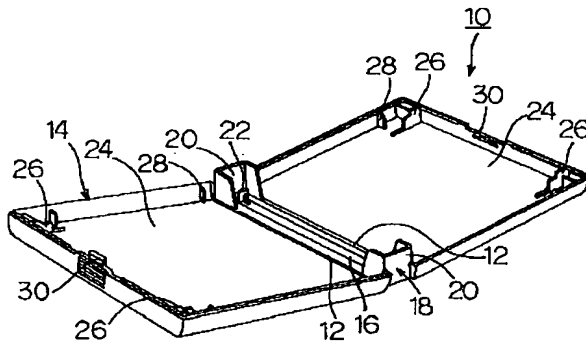
【請求項1】 両開きに形成したブック型本体の背部分を所定の厚さに設定するとともにこの背部分内側に一もしくはそれ以上のフロッピーディスクを収容して垂直保持するための収容部を対向配置することを特徴とするフロッピーディスク収納ケース。

【請求項2】 フロッピーディスクを垂直保持するための収容部は、複数のフロッピーディスクを収容するコ字状部材からなり、これらのコ字状部材の底部に段差を設け、さらにブック型本体の各内側壁に垂直保持されたフロッピーディスクの側面上部に当接する凸部を設けることを特徴とする請求項1に記載のフロッピーディスク収納ケース。

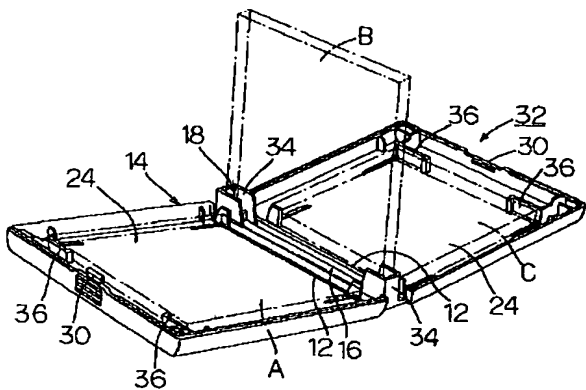
【請求項3】 フロッピーディスクを垂直保持するための収容部は、1数のフロッピーディスクを収容するコ字状部材からなり、これらのコ字状部材をブック型本体の背部分の厚み方向中央に配置し、さらにブック型本体の各内側壁に別のフロッピーディスクの外縁を挾持する保持部を突設することを特徴とする請求項1に記載のフロ*

20

【図1】



【図3】



2

* ッピーディスク収納ケース。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案に係るフロッピーディスク収納ケースの好適な実施例の斜視図である。

【図2】 図1に示すフロッピーディスク収納ケースに3枚のフロッピーディスクを収容してブック型本体を閉塞した状態の一部省略断面説明図である。

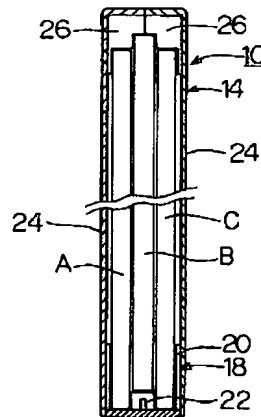
【図3】 本考案に係るフロッピーディスク収納ケースの別の実施例の斜視図である。

10 【図4】 図3に示すフロッピーディスク収納ケースに3枚のフロッピーディスクを収容するとともにブック型本体を開放した状態の一部省略断面説明図である。

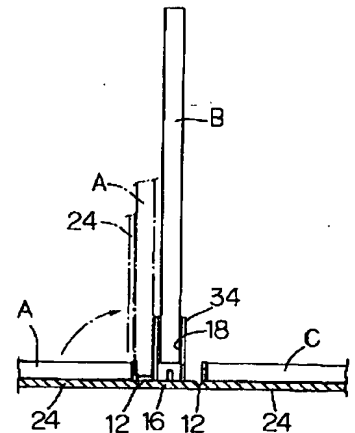
【符号の説明】

10 収納ケース、 12 ヒンジ部、 14 ブック型本体、 16 背部分、 18 収容部、 20 コ字状部材、 22 突状支持部、 24 蓋体、 26 凸部、 28 リブ、 30 ロック機構、 32 収納ケース、 34 コ字状部材、 36 保持部、

【図2】



【図4】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、フロッピーディスクの収納ケースの改良に関するものであり、一層詳細には、合成樹脂製のハードパッケージで保護されたマイクロフロッピーディスク（マイクロディスク）などを複数枚収納する際に好適に使用される収納ケースに関するものである。

【0002】**【従来技術および考案が解決すべき課題】**

近年、コンピュータ、ワードプロセッサなどの電子機器では大規模なCPUに使用する固定ディスクに代わって、記録媒体としての磁気薄片を簡単な合成樹脂製のパッケージやハードパッケージに収容することにより構成したフロッピーディスクが広範に使用されている。

【0003】

そしてフロッピーディスクも機器本体の小型化に伴って8インチから5インチ、さらには3.5インチへと小型化してきている。

【0004】

またこのフロッピーディスク自体は、通常、両開きとしたブック型本体のいずれか一方の本体内側壁に枠体を形成し、この枠体部分にフロッピーディスクを挿入して他方の本体で被蓋するようにした収納ケースに入れて保管ないしは持ち運ばれているが、複数のフロッピーディスクを保管したり持ち運ぶ場合は、前述のような1枚用収納ケースの背部を枚数に応じた厚さに設定して重畳して収容するようにした収納ケースやフロッピーディスクを平面上に隣接して収容するようにした収納ケースなどが使用されている。

【0005】

しかしながら、前者の重畳型収納ケースでは、持ち運び時にガタついたり所望のフロッピーディスクが重畳位置によっては取り出しにくくなり、また後者の平面隣接型収納ケースではケースが大型化してしまうなど種々の解決すべき課題が指摘されていた。

【0006】**【課題の解決手段】**

そこで、この考案では、両開きに形成したブック型本体の背部分を所定の厚さに設定するとともにこの背部分内側に一もしくはそれ以上のフロッピーディスクを収容して垂直保持するための収容部を対向配置する構成を採用することにより、複数のフロッピーディスクの保管ないしは持ち運びを好適に行なえるようにしたものである。

【0007】

この場合、複数のフロッピーディスクを収容するコ字状部材で収容部を形成するとともにこれらのコ字状収容部の底部に段差を設け、一方ブック型本体の各内側壁に凸部を設けて前記コ字状収容部によって垂直保持されるフロッピーディスクの側面上部に凸部を当接するように構成すれば、所望のフロッピーディスクの取り出しを簡便に行うことができるだけでなくガタつきなどの不都合も確実に阻止することができる。

【0008】

また、1数のフロッピーディスクを収容するコ字状部材で収容部を形成するとともにこれらのコ字状収容部をブック型本体の厚み方向中央に配置し、さらにブック型本体の各内側壁に別のフロッピーディスクの外縁を挟持する保持部を突設することにより構成することもできる。

【0009】**【作用】**

この考案では、所定の厚さに設定したブック型本体の背部分にフロッピーディスクが垂直保持されるので、従来の重畳型収納ケースと同様の外形寸法でしかも所望のフロッピーディスクの取り出しも簡単に行うことができるものである。

【0010】

また、段差を設けたコ字状収容部に複数のフロッピーディスクを収容するのでフロッピーディスクの取り出しをより簡便に行うことができるだけでなくこのフロッピーディスクをブック型本体の各内側壁の凸部によって当接保持するので持ち運び時のガタつきも防止することができものである。

【0011】

さらにまた、1枚のフロッピーディスクをコ字状収容部に収容して別のフロッピーディスクをブック型本体の各内側壁に設けた保持部で挟持するようにしたのでフロッピーディスクの選択ないしは識別を極めて簡便に行うことができるものである。

【0012】**【実施例】**

次に、本考案に係るフロッピーディスク収納ケースの好適な実施例につき添付図面を参照しながら以下詳細に説明する。

【0013】

図1において本考案に係るフロッピーディスク収納ケース10は、若干肉薄に設定したヒンジ部12、12を介して両開きに形成されるブック型本体14における背部分16を、例えば、フロッピーディスク3枚程度の厚さ t に設定するとともにこの背部分16内側に3枚のフロッピーディスクA、B、Cを収容して垂直保持するための収容部18、18を対向配置することにより基本的に構成されている。

【0014】

前記各収容部18は、背部分16内側端部ににおいてこの背部分16と一体的に成形されかつその開放部を対向させた所定高さのコ字状部材20で形成されている。

【0015】

また、このコ字状部材20の底部中央、すなわち、背部分16内側の端部中央には、収容されるフロッピーディスクのうち真ん中に位置するフロッピーディスクBを支持する突状支持部22が配設されている。

【0016】

一方、ブック型本体14を形成する蓋体24、24の内側壁の自由端部側所定箇所には、各収容部18によって垂直保持されたフロッピーディスクA、B、Cの側面上部に当接する凸部26が夫々配設されている。なお、この凸部26は収容部18によって垂直保持される各フロッピーディスクの段差に対応するため段

状に形成されることは言うまでもない（図 1 および図 2 参照）。

【0017】

なお、図 1 において参照符号 28 は、ブック型本体 14 としての蓋体 24、24 の内側壁に形成したスペーサ機能を兼ねたリブであり、また参照符号 30 はロック機構である。

【0018】

このように構成されるフロッピーディスク収納ケース 10 では、収容部 18（コ字状部材 20）に垂直保持された各フロッピーディスク A、B、C の側面上部には、蓋体 24、24 に設けた凸部 26 が当接することになるので持ち運び時などに発生するガタつきは可及的に阻止され、また各フロッピーディスク A、B、C の収容状態も、図 2 から明らかなように、突状支持部 22 によって段差を付けた状態で収容されるので所望のフロッピーディスクの選択ないしは取り出しを極めて簡単に行うことができるものである。

【0019】

また、図 3 および図 4 は、本考案に係るフロッピーディスク収納ケースの別の実施例である。この収納ケース 32 も前述と同様に 3 枚のフロッピーディスク A、B、C を収容するためのものであって、真ん中のフロッピーディスク B を垂直保持する収容部 18 は背部分 16 の厚み方向の中央に対向配置したコ字状部材 34、34 によって形成されている。

【0020】

なお、これらのコ字状部材 34、34 の底部にも突状支持部 22 が配設されており、収容されたフロッピーディスク B の上端部が他のフロッピーディスク A、C よりも突出するように寸法設定されている（図 4 参照）。

【0021】

また、ブック型本体 14 としての蓋体 24、24 の内側壁には、フロッピーディスク A、C の外縁部を挟持することにより保持する保持部 36 が突設されている。

【0022】

このように構成されるフロッピーディスク収納ケース 32 では、フロッピーデ

ィスクBが収容部18（コ字状部材34）、フロッピーディスクA、Cが蓋体24、24の内側壁に突設した各保持部36によって保持されているので、持ち運び時などに発生するガタつきは確実に阻止され、また各フロッピーディスクA、B、Cはいずれも個別に保持されているので選択ないしは取り出しも極めて簡単に行うことができるものである。

【0023】

【考案の効果】

先に述べたように、本考案に係るフロッピーディスク収納ケースによれば、基本的には所定の厚さに設定したブック型本体の背部分にフロッピーディスクを垂直保持するので外形寸法を小型化できるだけでなく所望のフロッピーディスクの取り出しも簡単に行うことができるものである。

【0024】

また、段差を設けたコ字状収容部に複数のフロッピーディスクを収容するのでフロッピーディスクの取り出しをより簡便に行うことができるだけでなくこのフロッピーディスクをブック型本体の各内側壁に設けた凸部によって当接保持するのでガタなども防止することができる。

【0025】

さらには、複数のフロッピーディスクをブック型本体の背部分および各蓋部に個別に収容するようにしたので所望のフロッピーディスクの選択ないしは識別を極めて簡便に行うことができる等種々の利点を有し、その実用的効果は極めて大きい。

【0026】

以上、本考案に係るフロッピーディスク収納ケースの好適な実施例につき説明したが、本考案はこの実施例に限定されるものではなく、本考案の精神を逸脱しない範囲内において種々の改変をなし得ることは勿論である。